

2. 附属天文台の沿革

2.1 沿革と主な施設整備年表

昭和 4 年 1 0 月	花山天文台設立
昭和 1 6 年 7 月	生駒山太陽観測所（奈良県生駒郡生駒山）設立
昭和 3 3 年 4 月	花山天文台及び生駒山太陽観測所を理学部附属天文台として官制化
昭和 3 5 年 3 月	花山天文台に、6 0 反射望遠鏡完成
昭和 3 6 年 3 月	花山天文台に、新太陽館完成
昭和 4 0 年 4 月	新設天文台の予定地調査後、最終候補地として大雨見山を決定
昭和 4 3 年 1 1 月	飛驒天文台設立。宿舎、本館、6 0 c m 反射望遠鏡ドーム完工、6 0 c m 反射望遠鏡を花山天文台より移設、開所式挙
昭和 4 4 年 3 月	花山天文台のクック 3 0 c m 屈折望遠鏡を改造して、ツァイス 4 5 c m レンズを搭載
昭和 4 7 年 3 月	生駒山太陽観測所閉鎖
昭和 4 7 年 4 月	飛驒天文台に、6 5 c m 屈折望遠鏡及び新館完成、竣工式挙
昭和 5 4 年 5 月	飛驒天文台に、ドームレス太陽望遠鏡完成、竣工式挙
昭和 5 5 年 3 月	花山天文台に、新館完成
昭和 5 5 年 3 月	花山天文台に、高速マイクロデンシトメーター導入
昭和 5 9 年 3 月	花山天文台に、画像処理システム K I P S 完成
昭和 6 3 年 3 月	飛驒天文台の、ドームレス太陽望遠鏡駆動コンピューター更新
平成 3 年 3 月	飛驒天文台ドームレス太陽望遠鏡塔体パネル営繕工事完了 飛驒天文台 1 5 m ドーム駆動装置営繕工事完了
平成 4 年 3 月	飛驒天文台に、太陽フレア監視望遠鏡及びドーム完成 花山天文台 5 m ドーム営繕工事完了 花山天文台にモザイク回折格子制御装置設置（太陽館分光器室）
平成 5 年 3 月	花山天文台 9 m ドーム営繕工事完了
平成 6 年 3 月	花山天文台太陽フレア観測望遠鏡格納庫仮設
平成 7 年 1 0 月	飛驒天文台専用道路落石防護工事施工
平成 8 年 3 月	花山天文台にデジタル専用回線導入
平成 8 年 1 1 月	飛驒天文台研究棟及び管理棟外壁等改修工事施工
平成 9 年 3 月	飛驒天文台ドームレス太陽望遠鏡に高分解能太陽磁場測定装置新設 飛驒天文台 6 0 c m 反射望遠鏡カセグレン焦点に分光器設置 飛驒天文台 6 0 c m 反射望遠鏡 7 m ドーム駆動部改修工事施工
平成 1 0 年 3 月	飛驒天文台 6 0 c m 反射望遠鏡赤道儀駆動部改修工事施工
平成 1 0 年 4 月	大学重点化にともない、京都大学大学院理学研究科附属となる
平成 1 0 年 1 0 月	飛驒天文台光ケーブル敷設工事施工。INS ネット 1 5 0 0 による高速データ通信回線開通
平成 1 1 年 3 月	花山天文台ザートリユース望遠鏡に太陽高分解 H α 単色像デジタル撮影システム完成
平成 1 1 年 3 月	花山天文台内（新館、本館、別館、太陽館）通信光ケーブル敷設
1 1 月	花山天文台のデジタル専用回線に、デジタルアクセス 1 5 0 0（1. 5 M b p s）を導入